

えがお
愛顔の

とくべつし えんがっこうぎのうけんてい
えひめ特別支援学校技能検定

テキスト

せい しょう
清 掃

ーダスタークロスー



愛媛県イメージアップキャラクター

みきやん

えひめけんきょういくいいんかい
愛媛県教育委員会

R8年度（13訂版）

【ダスタークロス】てじゅんひょう 手順表

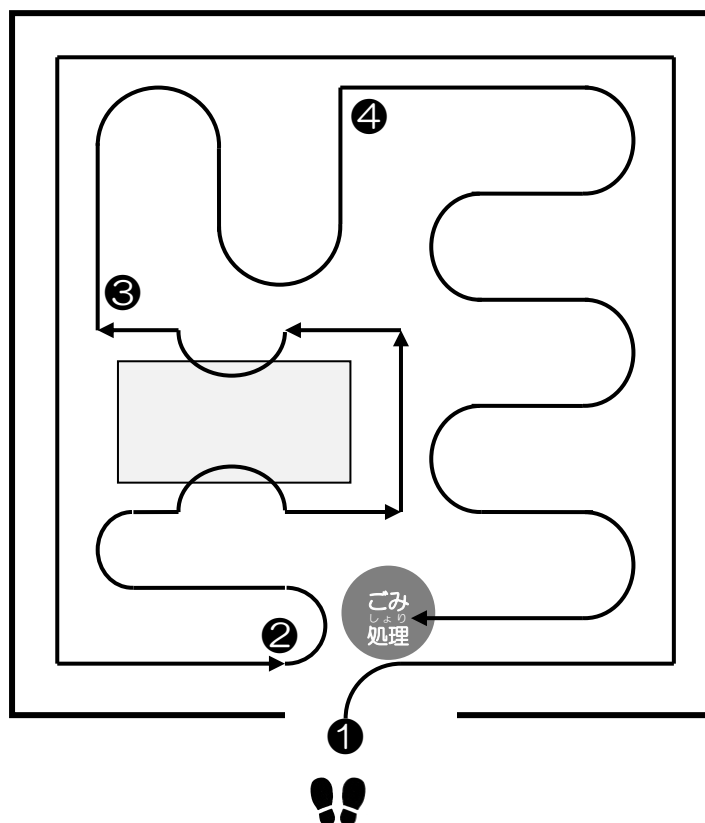
せいげんじかん ぶん
制限時間 6分

さぎょうこうてい 作業工程	さぎょうないよう 作業内容	しゃしん とう 写真・イラスト等
1 み 身だしなみ	① せいそう ふくそう 清掃にふさわしい服装をする。 ② せいけつ き っ 清潔に気を付ける。	
2 どうぐじゅんび 道具準備	① しんさいん ばん 審査員「0番△△さん スタート位置にお立ちください。」 へんじ 返事をして、 スタート位置に立つ。 しんさいん じゅんび はじ 審査員「準備を始めてください。」 じゅんび はじ 準備を始める。 ② どうぐ かくにん た 道具を確認し、足りないものがあれば報告する。 さぎょうひょうじばん □作業表示板 □ダスタークロスヘッド □え 柄 □クロス □自在ぼうき (30cm) ふんか □文化ちりとり □ごみ箱 ③ ヘッドにクロスを取り付ける。 ④ ひつよう え なが ちょうせつ (必要があれば) 柄の長さを調節する。 ⑤ ヘッドに柄を取り付ける。 ⑥ じゅんび 「準備ができました。」と報告する。	 
3 さぎょうかいし 作業開始  にゅうしつあいさつ 入室挨拶	① しんさいん 審査員「では、作業を始めてください。」 て あ はじ い 手を挙げ「始めます。」と言う。 ② さぎょうひょうじばん た 作業表示板を立てる。 ③ ダスタークロスを持ち、「失礼します。」と一礼し しつない はい て室内に入る。	
4 じょじんさぎょう 除塵作業	① そと い ぐち じょじん さぎょうばしょ はい 外から入口を除塵し、作業場所へ入る。 さいしょ いりぐち ※最初に入口のゴミを踏まないように気を付ける。 さぎょうす 作業図 (I-(5)-①-2) の順に作業を行う。 はばきがわ ① 幅木側 つくえ した ② 机の下 ちゅうおうぶ ③④ 中央部 ぜんしん てくち む いっかしょ あつ ※前進しながら出口に向かって一箇所に集める。 ③ かたひざ え 片膝をついて、柄とヘッドをはずす。 ④ ヘッドからクロスをはずし、資機材置場のごみ箱 しきざいおきば の中に入れる。 なか い ⑤ ヘッドと柄を資機材置場に返す。	  

5	ごみの 処理 点検	① じざい ぶんか と 自在ぼうきと文化ちりとりでゴミを取る。 ② よすみ ちゅうおう つくえ した と のこ 四隅と中央、机の下などに、ゴミの取り残しがないか確認する。	
6	たいしつあいさつ 退室挨拶 かたづけ 片付け	① でくち しつない む しつれい いちれい 出口で、室内に向かって、「失礼しました。」と一礼し退室する。 ② じざい ぶんか さぎょうひょうじばん しきざい おきば もど 自在ぼうき、文化ちりとり、作業表示板を資機材置場に戻す。	
7	さぎょうしゅうりょう 作業終了	① スタート位置に立ち、手を上げ「終わりました。」と報告する。 ② しんさいん 審査員に「ありがとうございました。」とあいさつ挨拶する。	

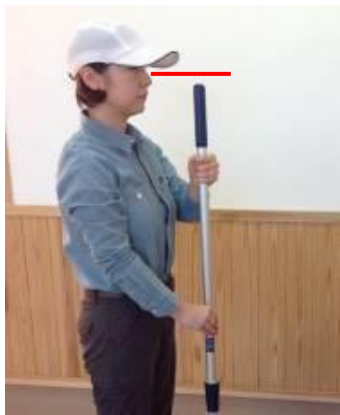
さぎょうす さぎょう てしゅん
《作業図：ダスタークロス作業の手順》

ばんごう すす ほうこう じゅんぱん あらわ うご かいすう てきぎ か かま
※番号は進む方向の順 番 を 表 す。クロスを動かす回数は適宜変えて構わない。



ダスタークロスは
さいご
最後まで浮かさないようにします。

【ダスタークロス】 解説

1	※【清掃の基本】解説 ①身だしなみを参照
2 道具準備 てうぐじゅんび	※【清掃の基本】解説 ②道具準備を参照 ■ダスタークロスは、ヘッド・柄・クロスの三つを組み合わせたものですが、クロスの処理の後、床に残ったごみを取り除くには自在ぼうきと文化ちりとりが必要です。   片膝をついた姿勢でクロスを床に広げ、その真ん中 にヘッドを置きます。ピンチを開き、ヘッドを上下から 包み込むようにクロスを持ち上げて、しっかりと クロス留めます。 必要に応じて柄の長さを調節します。まっすぐ 立て柄を伸ばし、目から鼻くらいの高さに合わせま しょう。柄の長さを調整するのはヘッドを付ける前の 1回です。   ヘッドを柄にセットします。 肩に柄を担ぎ、(または、床に 置き)柄とヘッドのジョイント 部分がしっかり噛み合うよう にセットしましょう。
3 作業開始 さぎょうかいし	※【清掃の基本】解説 ③作業開始、④入退室挨拶を参照

4

除塵作業
じょじんさぎょう

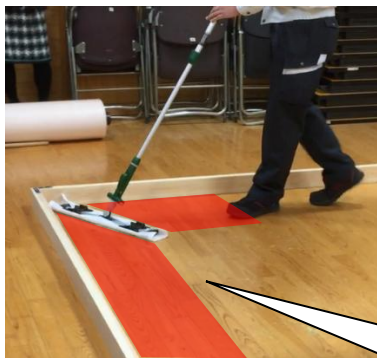
- 幅木や 机 の脚に当たらないように気を付けて作業します。
- ダスタークロスは最後まで持ち上げないようにします。
- ごみを踏まないように、ダスタークロスをかけた後を歩くようにします。

でいりぐち
出入口



出入口の左 端にダスタークロスを合わせて構えます。ごみを踏まないように、写真のように自分が歩くスペースを除塵してからコート内に入ります。

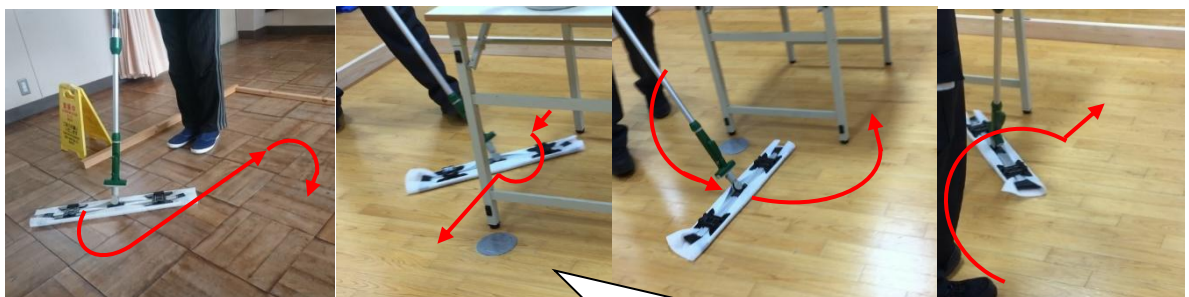
かべぎわ はばきがわ
壁際（幅木側）



ヘッドの壁側を少し前に出して、まっすぐに押して除塵していきます。このとき壁にヘッドがぶつからないように注意します。隅まで入ったらそのまま 左へヘッドだけ動かし、自分が歩いていくスペースを作ってから自分も進んでいくようにしましょう。

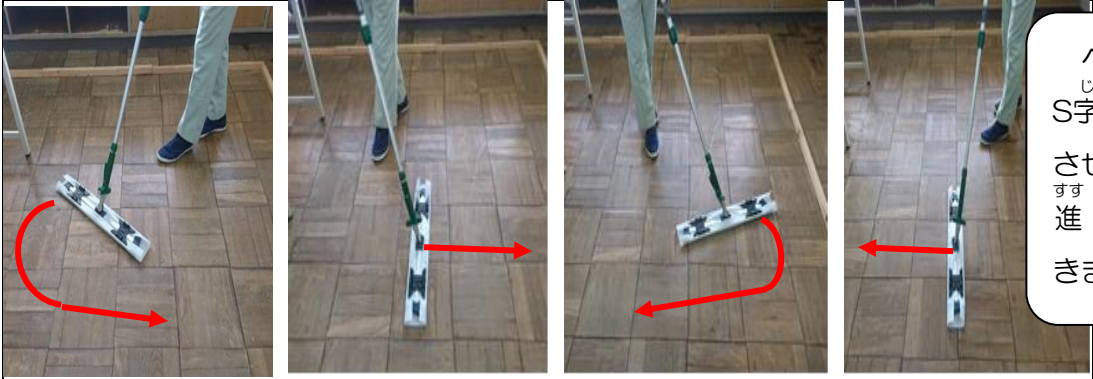
コートの隅はヘッドを45度にし、できるだけ隅までクロスを入れます。

つくえしゅうへん
机 周辺



机 のわきを通るときは 机 の脚にヘッドが当たらないようにヘッドを斜めにして進んでいきます。

一周したら、ヘッドを持ち上げず、そのままの流れでコートの中央部の除塵をします。※ごみが取りきれなくても、戻ってはいけません。かえってごみが残る原因になります。残ったごみは、後で自在ぼうきで取ります。

4 除塵作業 じょじんさぎよう	ちゅうおうぶ 中央部  ヘッドを じ かにてん S字に回転 させながら すす 進んでい きます。
5 ゴミの処理・点検 しより てんけん	よこ めん うちがわ クロスの汚れた面を内側にしてたたみ、ごみ 袋 に入れる。  ゆか のこ 床に残ったごみの処理 しより  ダスタークロスで と 取れなかったごみ は、自在ぼうきで てばや と 手早く取りましょ う。 てんけん 点検 かべぎわ よすみ 壁際・四隅 ちゅうおう 中央 と のこ 取り残しなし。 よすみ ちゅうおう 四隅と中央では、ごみの と のこ てばや かくにん 取り残しを手早く確認します。 ごみがなければ、「取り残しな し。」と、言葉に出して言います。 ※ごみの取り残しがあれば自在 ぼうきと文化ちりとりで取りま す。
6 退室・片付け たいしつ かたづ	 じざい かべ た ゆか ダスタークロス、自在ぼうきは壁などに立てかけず、床に ね お た お 寝かせて置くようにします。立てて置いておくと、ぶつかった たお きけん かべ きず とき倒れて危険ですし、壁を傷つけてしまうこともあります。
7 終了 しゅうりゆう	しごと じかんない お たいせつ こうりつ かくじつ せいそう お どりよく ■仕事は、時間内に終わることが大切です。効率よく確実に清掃を終える努力を しましょう。

【ダスタークロス】評価表

ひょうかひょう

せいげんじかん
制限時間 6分

が 月 にち
日

	こ う 項 目	ひょうか 評価	ひこう 備考
1	① ☐ 身だしなみを整えている。 ※身だしなみ評価表を参照		
2 道具準備	① ☐ 道具を確認し、足りないものがあれば、報告する。		
	② ☐ クロスをヘッドにたるみがないように取り付ける。		
	③ ☐ 柄の長さを目～鼻の高さに調節する。		
3 作業開始	① ☐ 適切な声の大きさや態度で作業開始を伝える。		
	② ☐ 作業表示板を適切な位置に置く。		
4 除塵作業	持ち方 ① ☐ 柄の先端を親指で押さえる。 ② ☐ もう一方の手は順手で柄を握る。		
	掃き方 ① ☐ ごみを踏まないように、作業を進める。 ② ☐ 幅木や 机 の脚にヘッドを当てない。 ③ ☐ 中央部は、ヘッドを半回転させながら左右に振る。 ④ ☐ 集めたごみが常に前にくるよう、ヘッドの向きを変えない。 ⑤ ☐ 途中でクロスを浮かさず、最後まで除塵する。 ⑥ ☐ 決められた順番で掃き進め、ごみを集める。 ⑦ ☐ 無理のない姿勢や正しい構えで作業を進める。		
	ごみ処理 ① ☐ クロスの汚れた面を内側にしてたたみ、ごみ袋に入れる。 ② ☐ 文化ちりとりの中にほうきの先半分を入れるようにして、取り残しがないようにごみを取る。		
5 点検	① ☐ ごみの取り残しはないか確認し、取り残しているごみがあれば取る。		
6 片付け	① ☐ 使用した道具をすべて資機材置場に戻す。		
7 作業全体	① ☐ 適切な声の大きさ・態度で挨拶や報告をする。 ② ☐ きびきびした行動で、スムーズに作業を進める。		※発語がない場合は手を挙げる等あいず合図する。
かかった時間		分	秒
		〇の数	

コメント

きゅう
級

〇の数	1,2	3,4	5,6	7,8	9, 10	11,12	13,14	15	16	17
きゅう 級	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

- できていない評価項目に☑を入れます。評価欄の枠内の全ての課題がクリアできれば〇がつきます。
- 制限時間6分を超えた場合は、その時点で検定を中止し、級外とします。

《場の設定》 ダスタークロス

- 1 テープ又は幅木により区画されたおよそ $4\text{ m} \times 4\text{ m}$ の範囲を試技コートとします。
- 2 テープ又は幅木の上には壁があるものとして作業を行います。
- 3 試技コートにある机は移動させないこととします。
- 4 資機材について
クロスは、ヘッドの大きさ 63 cm のものを使用します。
ほうきは、自在ぼうき（毛幅 30 cm のもの）を使用します。

配置図（会場の都合で変更することがあります。）

